

刊行に寄せて

日本大学総長 小 嶋 勝 衛

本学は、学生たちにとって魅力のある大学でなければなりません。少子高齢化や規制緩和、グローバル化などの社会の変化に伴い、学生や社会のニーズは多様化しています。これにこたえるため、昨年度から「日本大学の将来像」や「学部間リンケージの強化」など21項目の検討課題を掲げて、本学の魅力向上を図っているところです。

これらの検討を行う上では、現状を正しく把握することが肝要であります。本学では平成6年度以降3年ごとに全学挙げての自己点検・評価を行っております。このような一つ一つの点検・評価が本学の次のステップへの基礎となります。

本学教職員全員がこの自己点検・評価結果を用いて、日々新たな教育プログラムを作成しなければなりません。20の大学院研究科、14の学部、通信教育部及び短期大学部それぞれの優れている点を認識して、特色を伸ばすことに意欲的に取り組まれることを願います。そして、これが全体としては、たくさんの角を出したダイナミックな形を成し、巨大なスケールメリットを生かしたパワーあふれる大学になることを期待します。

本学は、間もなく創立120周年を迎えます。校友も100万人を数えるようになります。これからも校友はじめ多くの関係者の方々と手を携えて本学を発展させて参ります。

平成19年度には、この自己点検・評価結果を基に外部評価を行い、関係各位の御助言を賜り、多くの方から誇りに思われるような大学としていきたいと存じます。本学の改革への努力を御理解いただき、御支援賜りますようお願い申し上げます。